

社長、曰く。

トップインタビュー

■座右の銘■

変化しないことは、後退を意味する。

株式会社 ミート・コンパニオン
代表取締役 阿部 昌史 氏この座右の銘はキヤノンマーケティングジャパンの
複合機、プリントの新聞広告に9月上旬に掲載されます。

「変化を恐れるな」

変化は様々な場面で求められます。私どもの扱う肉も、夏はさっぱりとしたものを好まれる為、脂の少ない赤身が。冬は鍋が主流となる為、脂がのっている部位が好まれるように、季節によってお客様の求めるものは変わります。また、和牛は今や世界的ブランドとして好まれ、中国・ロシア・ドバイなど各国の富裕層にも大変人気があり、国内のみならず海外も大きな市場となっていました。食品業界はここ最近特に変化が激しく、ニーズの多様化もあり、私たちを囲む状況は刻一刻と変化しています。お客様が求めている商品を世に出すには、我々は柔軟性を持った仕事をしなければなりません。まずは私自身が、成功事例や固定観念に捉われるのではなく、世の流れ、状況・ニーズに応じた仕事をするよう心がけ、過去に捉われるのではなく、自分自身で新境地を切り開く事を念頭においています。また社員に対しても、マンネリ化・ワンパターンな仕事をするのではなく、常に変化することを求めています。

私は毎月社員に対し、月ごとのテーマを述べます。例えば数年前までは「失敗を恐れずトライせよ」と述べた言葉も、今は「ひとつの失敗が命とり。ひとつひとつを真剣に」と変化しています。今の商売環境に応じて、行動は変化すべきであり、変える事を恐れるな！との想いを込めています。

会社経営においても、現状維持で満足した時点でそれ以上の進歩はなく、それは後退を意味すると思っています。現状維持、すなわち 止まる ということは許されないので。守りに入るのではなく、常に変化を求め、新しい事を求め前進しなければならないのです。

(阿部社長へのインタビューより)



趣味はサッカー観戦・バンド。サッカー観戦はヨーロッパの試合を見るのがお好き。バンドに関しては、ご自分でレコードイングスタジオをお持ちなほど！主にピートルズを演奏する。担当はポール。学生時代にもバンドをしていたが、今は演奏を録音するなどした楽しみ方をされているそうです。にこやかに楽しそうにお話いただく様子から、バンドが社長のリフレッシュの源になっているのが伝わってきました。

(株)ミート・コンパニオン様は、食肉卸業としてスタート。2009年創業35周年を迎える。現在はMC GROUPとして、業界をリードし、商品管理システム・流通システムを確立。業界トップクラスの地位を築く。

グループ会社と連携をし、和牛のトップクラスから輸入品、豚などあるゆる商品をデパート、量販店、専門店、焼肉チェーンなどへ販売をする。長年の経験により培った「熟練の目」で仕入れを行い、衛生管理の徹底された自社のカット工場で製品化する。ミート・コンパニオン様で扱う全ての国産牛には一頭一頭全てに10桁の個体識別番号をつける。様々なバーツに分かれて市場に流通するが、これによりトレーサビリティという徹底した追跡管理が可能となり、安全性に対する信頼を高めている。また、東京都が都の試験場で7年の歳月をかけて作り上げた東京ブランド「TOKYO X」というプレミアムポークも同様のトレーサビリティにて取り扱う。

グループ各社では、冷凍食品・加熱調理製品・焼肉店の経営など幅広い分野において活躍され、「安全・安心」をモットーに着実に業績を伸ばされている。

本社所在地 東京都立川市富士見町6-65-9